

令和4年度 4歳児 「発表会」

(実践前修正箇所を斜体、実践後修正箇所を囲み文字、活動内容によって変えやすい箇所を網掛けにて示す。)

1. 期間 1月中旬～3月上旬

2. 設定の理由

昨年度、クラスで1か月近く1つのお話をもとにごっこ遊びをする発表会を1回経験してきている。その中で、自分のしたいことを選んだり意識してしようとしたり、できるようになって嬉しいと思ったり、友達と一緒に動いたり歌ったりする喜びを感じたり、なりたい登場人物になって表現する楽しさを感じたりしてきている。また、友達と一緒に遊ぶ中で友達のことを知ったり、自分の気持ちを言葉や行動で伝えたりしてきている。また、発表会を迎える中で、たくさんの人に見てもらったり拍手をしてもらったりして嬉しい気持ちを感じたり、自分に満足したりしている。さらに、4歳児の発表会を見せてもらい、こんなことをしてみたいと憧れの気持ちをもって

いる子どももいる。

今年度の運動会では、少し難しいことに対してできるようになりたい、上手になりたいという気持ちをもって繰り返し取り組み、できるようになった嬉しさや前より上手になった嬉しさや、役になりきって体を動かす楽しさや、皆で動きを合わせて表現する楽しさ、皆でお話の展開や設定を考えて遊びを作っていく楽しさを感じていた。11月から12月頃には、自分達で気の合う友達を誘い合って遊び始め、したいことを言ったり友達の話を聞いたりして、友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいた。その中で、友達の様子を見たり、考えていることを見たり聞いたりして、すごいな、面白いな、などいろいろな友達の個性に気付いたりしていた。また、いろいろなごっこ遊びの中で、なりたいものを思い浮かべてなりきり、その役らしい言葉や話し方、動きをしたり、遊びに必要な物やその役らしくなるために必要な物を作って身に付けたり、友達と相談しながらお話の展開や設定を考えたりすることを楽しんできている。

3学期になると、前とは違う自分や頑張っている姿やできるようになったことをさに意識させを向けることで、前との違いや成長を感じ、自信をもっていく。また、こまを回したい、長く回したい、こまを下敷きに寄せたい、狭い的にこまを投げ入れたい、紐に乗せて持ち上げたい、縄跳びで前とびの回数を増やしたい、ボールを上に向けて連続でキャッチできるようになりたいなどと具体的に目的をもって挑戦し、できるようになると次の目的を決めて挑戦していく姿が見られるようになる。その中で、友達の頑張っている姿やできるようになった姿を見て、すごいと思ったり、うまくいなくて困っている友達に気づき、助けてあげようとしたりする。また、したい遊びによっていつもと違う友達と遊んだり、クラスみんなで遊んだりする中で、友達のよさや今まで知らなかった個性に気付くようになる。

発表会で、子ども達に身近な心情のお話を取り上げてごっこ遊びをすることで、登場人物の気持ちを感じて共感したり、登場人物の気持ちを感じながら、表情や言葉、話し方、動き方などを考えて表現したりすることができる。また、子ども達の考えを取り入れながら中心に、遊びやお話の流れや設定、動きなどを決めて進めていくことで、自分達で遊びやお話を作っている感覚をもったり、みんなで決めたことを一緒にすることを喜んだりする。これまでみんなで楽しんできた遊びを取り入れることで、もっとこうしてみたい、こうしたら楽しくなるということを、それぞれが考えを出し合いながら一緒に決めていくことができる。遊びの必要で物を作ることで、目的や用途を意識し、作るものを具体的に思い浮かべることにつながり、大きさや形、色などを考え、素材の特徴を生かして組合せ、描いたり作ったりすることができる。

そこで発表会では、具体的な目的をもち、それに向けて考えたり試したりしながら取り組み続けていけるように支えていきたい。そして、前とは違う自分を自覚して自信をもったり、さらなる目的をもち、取り組んだりしてほしい。また、お話を取り上げてごっこ遊びをする中で、自分の考えを言ったり、友達の考えを聞いたりしながら、一緒に遊びを進めることを楽しんでほしい。そして、面白いことを考える、助けてくれて優しいなど友達のいろいろな個性に気付いてほしい。

3. ねらい

- ① いろいろな役をしたいと思ったり、なりた役や頑張りたい役割を決めたりして、動き方や話し方、言葉、遊び方などについてこうしたいと考えたり、遊びに必要な物をどのように作りたいか考えたり、ボールやフープ、縄、こま、けん玉などの挑戦したい技を決めてできるようになりたいと思って練習したりするなど、具体的な目的をもって繰り返したり試したりして取り組もうしたり、自分や友達の作ったものに思い入れをもち、大切に扱ったりする。
自ら決める・選ぶ
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ② なりたい役になったり遊びに必要な物を作ったりして自分の考えたことができたことに満足したり、できなかったことや難しいと思っていたことができるようになってきた、上手になったなど前とは違う自分やしたいことを続けてきた自分の頑張りを感じて自信をもったりする
自分に満足する
自分を客観的に把握する
- ③ 上手いかわなくて悔しい、困ったなどと思った時に、自分の納得のいく方法を見つけて気持ちを落ち着かせたり、気持ちを立て直してやってみようとしたりする
気持ちをコントロールする
- ④ いろいろな友達と体を触れ合わせたり、顔を見合わせたり、一緒に動いたり歌ったりしながら、クラスの友達みんなと一緒に遊ぶ楽しさを味わう
他者という喜びを感じる
- ⑤ 友達が考えた動きを見たり、友達の言葉を聞いたり、友達の頑張っている姿や真剣な姿を見たり聞いたりして、友達の個性や考えを知ったり、頑張りがよさを感じたりする
他者のことを知る
- ⑥ 友達の気持ちや考えを聞きながら、自分の困ったことや嫌な気持ち、したいことやしてほしいこと、こうすればよいと考えたことを友達に分かるように伝えようする
自分のことを伝える
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑦ 困っている友達に気付き、友達のために声をかける、待つ、励ます、教えるなどしてあげたいと思うことをしようとする
他者のことを考えて行動する
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
人ものごとをすすめる
- ⑧ みんなでするごっこ遊びやお話に取り入れたルールのある遊びが楽しくなるように、友達のしていることを見たり考えを聞いたり、したいことや考えたこと、おかしいと思ったことを言ったりして、自分のできることを考えてしたり、どんなものやことが必要か、どうすればよいかなどを友達と一緒に考え、その通りにしようとする
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
- ⑨ 大勢の友達と動く時や道具を使ったり出したりする時に、どうすると危ないか、何が危なかったかを一緒に考え、同じ方向に走ったり、周りをよく見て動いたり、声をかけたりするなど、危なくないようにするなど、考えた方法を意識して動こうとする
身を守る
自分を客観的に把握する
- ⑩ ボールやフープ、大縄、短縄、こま、けん玉などの技に応じた姿勢や力の加減、体の動かし方、道具の動きに合わせた動きのコツを取り組みながらつかんでいったり、それらをする楽しさを感じたりする。
身体を操作する
- ⑪ ごっこ遊びに使ったり、必要なものを作ったりする中で、紙粘土やハサミ、段ボールカッター、のり、ボンド、筆、ローラー、タンポ、作った小道具や衣装、大道具、楽器などの特徴や性質を感じる
事物をみつめる
- ⑫ ごっこ遊びに必要な物や登場人物、好きな場面、強く感じた思い等を思い浮かべて、それに合わせて大きさや形、色、質感などを考えて、素材を選んだり、形を変えたり、素材の特徴を生かして組み合わせ方を考えたりしながら、描いたり作ったりすることを楽しむ
造形に表す
関連付ける
- ⑬ リズムやメロディー、テンポ、曲の雰囲気を感じて歌を歌ったり 楽器を鳴らしたり身体を動かしたり、歌に流れるお話や気持ちを思い浮かべながら歌を歌ったりする楽しさを感じる
音楽に表す
- ⑭ 絵本を見たり、お話を考えたり して、役になって遊んだりする中で、 桃太
文芸に表す

~~郎の優しさや真面目さ、誰かのために頑張る気持ち、仲間を大切に思いやる気持ち、おじいさんやおばあさんの桃太郎を大切に思う気持ち、鬼の心の揺れ動き忍者の諦めない気持ちや命を大切にすること、姫の優しさ、殿の威厳、仲間を大切に思いやる気持ち、相手を認める思いなど、お話それぞれの場面の様々な登場人物の気持ちを感じたり考えたり、友達や教師と一緒に場面や設定、展開を創造してお話を作ったり、**作ったお話や感じた思いを歌詞にする**楽しさを感じたりする~~

- ⑮ 登場人物の気持ちや性格、具体的な場面を感じたり思い浮かべたり、友達の表現を取り入れたりしながら、その役らしい表情や言葉、話し方、動き方でありきって表現したり、歌や曲から感じたことを身体で表現したりする楽しさを感じる

身体の動きに表す

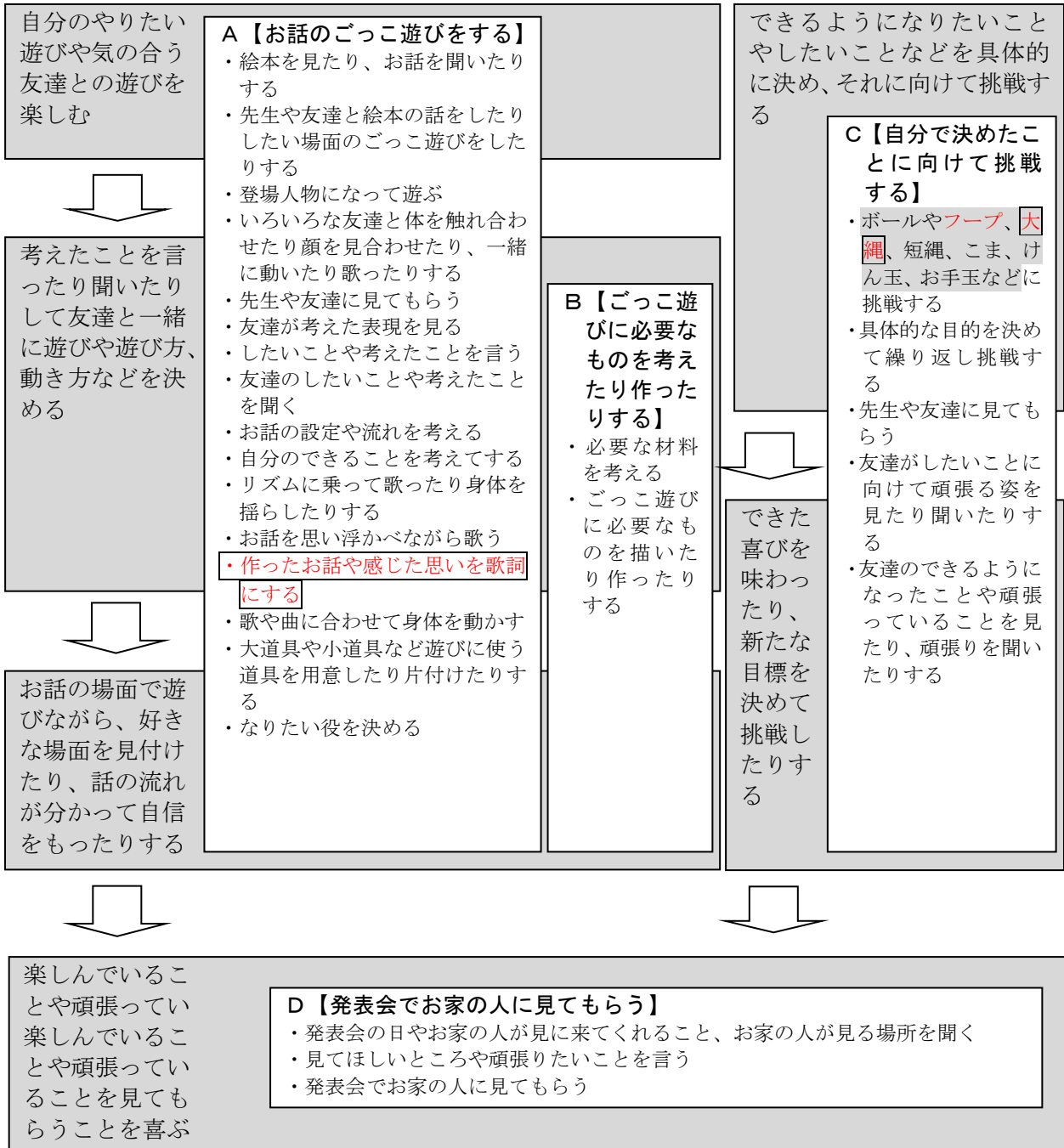
- ⑯ ~~より役らしくなるように、忍者道具や扇子、団子、着物などの小道具や衣装を作ったり使ったり役や場面に応じて身に付けたり、よりその場面らしく見えるように、花畑や城、屏風、林、扉などの小道具や舟や岩、海、汽車やトンネル、線路などの大道具を作ったり音を鳴らしたり場面に応じて使ったり、自分達のしたいお話になるように挨拶や歌などを入れたり、見ている人に分かってもらえるように大きな声で話したりそれが劇中では聞こえていないことにしたりする楽しさを感じる~~

演出に表す
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する

- ⑰ ~~ごっこ遊びに使ったり、必要なものを作ったりする中で、ハサミや段ボールカッター、のり、ボンド、筆、ローラー、作った小道具や衣装、大道具、楽器などの道具の扱い方を知り、慣れたり、道具を丁寧に扱おうとしたりする見ている人に見やすかったり見えなかったりするように、道具を隠したり置いたり立ったりする位置や向きを決めたり、必要な道具を考えて運んだり使わない時は収めたりしようとする~~

道具をあやつる
住空間を整える
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する

4. 展開



A【お話のぐっこ遊びをする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・絵本を見たり、お話を聞いたりする ・いろいろな役になる ・登場人物になりきって表現する遊ぶ ・いろいろな友達と体を触れ合わせたり顔を見合わせたり、一緒に動いたり歌ったりする ・先生や友達に見てもらう ・友達が考えた動き表現を見る ・したいことや考えたことを言う ・友達のしたいことや考えたことを聞く ・自分のできることを考えてする ・リズムに乗って歌ったり身体を揺らしたりする ・お話を思い浮かべながら歌う ・歌や曲に合わせて身体を動かす ・大道具や小道具など遊びに使う道具を運ぶ ・なりたい役を決めてなりきって遊ぶ	○いろいろな役をしたいと思い、動き方や話し方、言葉、などについてこうしたいと考えてしてみようとする① ○前とは違う自分やしたいことを続けてきた自分の頑張りを感じて自信をもったり、なりたい役になって自分の考えたことができたことに満足したりする② ○上手くいかなくて悔しい、困ったなどと思った時に、気持ちを立て直してやってみようとする③ ○いろいろな友達と体を触れ合わせたり顔を見合わせたり、一緒に動いたり歌ったりしながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう④ ○友達が考えた動きを見たり、言葉を聞いたり、友達の頑張っている姿や真剣な姿を見たり聞いたりして、友達の個性や考えを知ったり、頑張りやよさを感じたりする。⑤ ○友達の気持ちや考えを聞きながら、自分の困ったことや嫌な気持ち、したいことやしてほしいこと、こうすればよいと考えたことを友達に分かるように伝えようとする。⑥	◎いろいろな役をしたいと思えるように、いろいろな役を全員でする状況を作ったり、教師がいろいろな役を楽しむ姿を見せたりする。 ◎動き方、話し方、言葉などをそれぞれが考えられるように、考えてしていることを具体的に褒めて意識させたり、それぞれの考えた表現を褒めたりする。 ◎前と比べて変わった自分、頑張っている自分になった自分を感じられるように、前と比べてよくなっているところやこれまでの頑張りを具体的に言葉にして褒める。 ◎自分の考えたことを認めてもらえた嬉しさを感じられるように、工夫している表現を褒めたり、考えていることを聞いたり、友達に見てもらう場をもち、友達の見て感じたことを聞く機会を設けたりする。 ◎しまった、悔しい、困ったと思った時に、気持ちを立て直すことができるように、困っている気持ちを受け止め、待ったり、周りの友達と一緒に励ましたりする。 ◎友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように、友達と体を触れ合わせたり、動きを合わせる必要があったりする遊びを取り入れる。 ◎いろいろな友達と一緒に遊ぶことを楽しいと思えるように、友達と一緒に自由に遊ぶ場面や友達を誘い合って一緒にする場面を作ったり、一緒にしている友達の名前を呼んだり、感じている嬉しい気持ちを言葉で伝えたりする。 ◎友達の考えを知ったり、友達のよさを感じたりできるように、考えたことを見合ったり、工夫している表現や頑張っていることを褒めて注目させたり、見て感じていることに共感したりする。 ◎友達の頑張りや頑張っている自分になったこと、工夫していることを素敵だと思えるように、これまでの頑張りや考えていることを知らせたり聞いたりして注目させたり、何がどうよいのか着目するところを知らせたり、頑張っている自分になったことを見合う場をもったりする。 ◎自分の気持ちや考えたことを友達に伝えようとするように、友達の考えを聞いてどう思うのか尋ねたり、具体的な言葉に言い換えたり、言葉を足したり、相手に伝わったか一緒に確かめたりする。

○困っている友達に気付
き、友達のために声をか
ける、待つ、励ます、教
えるなどしようとする。⑦

○みんなですごっこ遊び
や**遊びに取り入れたル
ールのある遊び**が楽しく
なるように、友達のしてい
ることを見たり考えを聞
いたり、したいことや考
えたこと、おかしいと思
ったことを言ったりし
て、自分のできることを
考えてしたり、どんなも
のやどんなことが必要
か、どうすればよいかな
どを友達と一緒に考え、
その通りにしようとし
る。⑧

○大勢の友達と動く時に、
どうすると危ないか、何
が危なかったかを一緒に
考え、同じ方向に走った
り、周りをよく見て動い
たりするなど、考えた方
法を意識して動こうとし
る。⑨

○リズムやメロディー、テ
ンポ、曲の雰囲気を感じ
て歌を歌ったり身体を動
かしたり、歌に流れるお
話や気持ちを思い浮かべ
ながら歌を歌ったりする
楽しさを感じる。⑩

○絵本を見て、**忍者の諦め
ない気持ちや命を大切に
する気持ち、姫の優しさ、
殿の威厳、仲間を大切に
思いやる気持ち、相手を
認める思いなど**、お話そ
れぞれの場面の様々な登

◎友達のためにできることをしようとする
ように、困っている友達の姿を知らせた
り、困っている友達のためにできることを
一緒に考えたり、待ってできそうな時は、
待ってあげることを提案したりする。

◎それぞれの考えていることがわかるよう
に、実際に動いて見せてもらったり、みん
なで動いてみたりする。

◎自分のできることを考えたり、必要だと思
うことを一緒にしようと思えるように、声
をかけあったり、合図を出したりして動い
ていることのよさを具体的な言葉にして
褒める。

◎したいことや考えたことを言ったり聞い
たりしながら一緒に考えられるように、考
えるポイントを絞って話し合いをし、友達
の考えに対してどう思うのかやその理由
を聞いたり、考えが合わない場合は、自分
はどうしたいのかを聞いたりする。

◎遊び方やルールを友達と一緒に考えて決
めていけるように、これまで楽しんできた
簡単なルールのある遊びを取り入れ、もっ
とこうしたらいいと思うことや困ったこ
と、おかしいと思っていることを聞き出し
たり、それに対してどう思うのかを投げか
けたりする。

◎どうすると危ないか、何が危なかったか考
えられるように、どんな状況になっていた
か知らせたり、危ないと感じたことやどう
すると危なくないかを尋ねたりして、一緒
に考えたり、振り返ったりする。

◎考えた方法を意識して動けるように、方法
を事前に確かめたり、意識していることの
よさを言葉にして褒めたりする。

◎リズムやメロディー、テンポ、曲の雰囲気
を感じて歌を歌ったり身体を動かしたり
するように、いろいろなリズムやテンポ、
雰囲気の曲を選んだり、テンポを変えて演
奏したり、メロディーをはっきりと正確に
歌ったり、感じて歌ったり身体を動かしたり
する。

◎歌に流れるお話や気持ちを思い浮かべな
がら歌えるように、歌詞の意味や込められ
た気持ちを知らせたり、お話の中で子ども
達を感じている気持ちや楽しんでいるこ
とを聞きながら、歌詞を作ったりする。

*感じてほしい登場人物の気持ちを感じら
れるように、日頃から子ども達と共有し大
切にしてきている心情と結び付ける言葉
をかける。

*繰り返しお話を見たり読んだりしてお話
の面白いところ、好きなところを見付けたり
心情や場面、動きを思い描いたりできる

場人物の気持ちを感じたり考えたりする⑭

○友達や教師と一緒に場面や設定、展開を創造してお話を作ったり、**作ったお話や感じた思いを歌詞にする**を楽しむ感じたりする⑭

○登場人物の気持ちや性格、具体的な場面を感じたり思い浮かべたり、友達の表現を取り入れたりしながら、その役らしい表情や言葉、話し方、動き方になりきって表現したり、歌や曲から感じたことを身体で表現**したり**する楽しさを感じる⑮

○より役らしくなるように、**忍者道具や扇子、団子、着物**などの小道具や衣装を作ったり**使ったり**役や場面に応じて身に付けたり、よりその場面ら

ように、取り上げるお話の絵本を複数冊置く。

◎登場人物の気持ちを感じられるように、心情が強く表れている部分は気持ちを込めて強調して読んだり、ごっこ遊びをする中で、役や状況を思い浮かべながら体感できる状況を表す言葉をかけたり、子どもと同じ役や相手役になりきって状況に合った言葉を言ったり、それぞれの場面での気持ちを一緒に考えたりする。

* **同じお話や登場人物でも少しずつ異なる内容や設定、展開があることに気づき**、自分達でお話を作っていくきっかけとなるように、同じシリーズの絵本や**同じお話で作者が違う絵本**、同じ題材の違う絵本などを一緒に置いておく。

◎場面や設定、展開を**創造**してお話を作る楽しさを感じられるように、教師が自由に想像して考えた場面や設定、展開を言葉にする姿を見せたり、自由に発想して提案する姿を受け止め、一緒になって発想することを面白がったりする。

◎**作ったお話や感じた思いを話しながら歌詞を考える楽しさを感じられるよう、どんな話にしたか振り返ったり、どんな言葉、順番だと伝わりやすいか尋ねたり一緒に考えたりする。**

*全員でお話作りを積み重ねられるように、出てきた考えや決めたことを文字やイラスト等でかき留め、いつでも見られる所に置いておく。

◎登場人物の気持ちや場面を思い浮かべられるように、情景や状況を伝えたり、同じ役や相手役になって話しかけ思い浮かべていることを引き出したり、場面に合った音やBGM等の音響をかけたりする。

◎登場人物の気持ちを感じながら表現できるように、心情の表れている言葉を取り上げて話したり、登場人物の気持ちを一緒に考えたり、同じ役や相手役になって表現して見せたり言葉や動きで状況を作って引き出したりする。

◎歌や曲から感じたことを身体で表現できるように、歌のリズムやテンポ、メロディ、曲調、歌詞といった要素を言葉や動き、表情等で知らせて意識化したり、動きのよさをそれらと結び付けて褒めたりする。

◎役や場面らしくなるように道具の必要を感じられるように、道具の存在が際立った場面が変わったりする状況でごっこ遊びをしたり、必要に感じて提案したり、作ったりする姿をよりらしく見えるよさを言葉にして褒めたりする。

	しく見えるように、花畑 や城、屏風、林、扉などの 大道具を作ったり音を鳴 らしたり場面に応じて使 ったり、自分達のしたい お話になるように挨拶や 歌などを入れたり、見て いる人に分かってもらえ るように大きな声で話し たりそれが劇中では聞こ えていないことにしたり する楽しさを感じる⑩ ○なりたい役を決めて、そ の役らしい動き方や話し 方、言葉などを考えてなり きろうとする①	◎道具を役や場面らしくするために作っ たり使ったりする楽しさを感じられるよ うに、作ったり使ったり使っているのを見 たりした感想を尋ねたり、教師が感じたよ さを言葉にして知らせたりする。 ◎自分達のしたいお話にしようと挨拶や歌 などを入れる楽しさを感じられるように、 始めや終わりといった演出を考えやすい ポイントを意識して言葉にしたり、これま での経験からの考えを取り上げたり広め たり、考えを提案したりする。 ◎見ている人に分かってもらえるように表 現することを意識して表現する楽しさを 感じられるように、大きな声やはっきりと した表現を受けて表現したいことがよく 伝わったことを知らせる。 ◎なりたい役を決めてなりきろうとするよ うに、一人一人にどの役がしたいか尋ね たり、こだわって選んだりなりきったりする 姿を具体的に褒めたりする。
--	---	--

B【ごっこ遊びに必要なものを考えたり作ったりする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
- 必要な材料を考 える - ごっこ遊びに必 要なものを描い たり作ったりす る	○遊びに必要な物をどのよ うに作りたいか考え、試 しながら作ろうとする① ○自分が思うような物がで きたことに満足する③ ○ごっこ遊びに必要な物を 作る中で、どうすれば安 全に使えるのか考えてし てみようとする⑨ ○ごっこ遊びに使ったり、 必要なものを作ったりす る中で、ハサミや段ボー ルカッター、のり、筆、ロー ラー、タンポ、作った小 道具や衣装、大道具、楽器 などの特徴や性質を感じ る⑪	◎作りたいものを具体的に思い浮かべて作 ることができるように、考えていること やどんなことに使うかなどを尋ねる。 ◎作りたい思いにこだわって作れるよう に、どんな物が作りたいのかを尋ねたり、 作っている過程でも目的を振り返った り、目的に向かっている姿を具体的に言 葉にして褒めたりする。 ◎思うような物ができたことに喜べるよう に、工夫したところを聞いたり、教師が素 敵だと思うところを具体的に伝えて褒め たりする。 ◎使い方によっては危ない道具であること を知り、安全に使うためにどのように使 おうか考えてしてみようとするように、 安全に使った方がよい道具の特徴を言葉 にしたり、自分で考えて安全な扱い方を していることを褒めたりし、考える機会 を設ける。 ◎段ボールカッターを前後に動かすと切れ やすいことやタンポは淡い色付けができ ることなど、道具の特徴や性質を感じら れるように、使う中で感じていることを 尋ねたり、教師も一緒になって性質や特 徴に驚いたり面白がったりする。

	○ごっこ遊びに必要な物や登場人物、好きな場面、強く感じた思い等を思い浮かべて、それに合わせて大きさや形、色、質感などを考えて、素材を選んだり、形を変えたり、素材の特徴を生かして組み合わせ方を考えたりしながら、描いたり作ったりすることを楽しむ⑫ ○ごっこ遊びに必要な物を作る中で、ハサミや段ボールカッター、のり、ボンド、筆、ローラー、タンポ、作った小道具や衣装、大道具などの道具の扱い方を知り、慣れたり、道具を丁寧に扱おうとしたりする⑭ ○自分や友達の作ったものに思い入れをもち、大切に扱おうとする。	*思い浮かべた物を自ら考え選択しながら作れるように、どんな形、大きさ、色、質感の物が必要なのか聞きながら、それがかなう複数の材料を用意する。 ◎大きさや形、色、組み合わせ方を考えながら作れるように、工夫しているところを褒めたり、他の友達の工夫を見せて刺激を与えたりする。 ◎好きな場面や強く感じた思いを思い浮かべて描いたり作ったりできるように、描いたり作ったりする前にお話や遊びを振り返ったり、絵や作品から実際にお話しや遊びの中で出てきたり感じていたりした思いと結び付けて言葉にしたりする。 ◎道具の扱い方を知ったり、慣れたりできるように、扱い方を見せたり、気を付けることを伝え理由と共に知らせたり、扱い方に困っている時には、しやすい方法を一緒に考えたり、一緒にしたりする。 ◎道具を丁寧に扱おうと思えるように、丁寧な扱い方をそうするよさをつぶやきながらして見せたり、丁寧な扱い方をしていることを褒めたり、扱いが雑になっている時には、道具がどうなると思うか尋ね、扱い方を考える機会を設けたりする。 ◎作った作品に思い入れをもち、大切に扱おうとするように、これまで頑張ってきたことや、その作品のよさを具体的に言葉にしたり、雑に扱って壊れそうになってきている状況を伝えたりする。
--	---	---

C【自分で決めたことに向けて挑戦する】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
- 具体的な目的を決めて挑戦する - こま回しをする - ボールを使って様々に体を動かす - 縄を使って様々に体を動かす - 先生や友達に見てもらう - 友達がしたいことに向けて頑張る姿を見たり聞いたりする	○ボールやフープ、大縄、短縄、こま、けん玉などの挑戦したい技を決めてできるようになりたいと思い、繰り返したり試したりして取り組もうとする① ○ボールやフープ、大縄、短縄、こま、けん玉などの技に応じた姿勢や力の加減、体の動かし方、道具の動きに合わせた動きのコツを取り組みながらつかんでいたり、それらをする楽しさを感じたりする	*具体的な目的をもち、意識し続けられるように、何をどんな風にしたいのかを聞き、文字やイラストでかき記し、いつでも見られる場所に掲示しておく。 ◎始めにしたいと思っていたことができて、さらに次のしたいことを決められるように、できて嬉しい気持ちを認めながら次の目標を聞いたり、少し難しいことを提案したりする。 ◎こまを投げたりボールやフープ、お手玉、けん玉を使ったり、縄を跳んだりする時など、遊具や技に合わせた姿勢や持ち方、身体の使い方、動かし方、力加減を感じたり、考えたり、試したりできるように、一緒にしたり、やってみせたり、できる友達の姿勢や動きを見せたり、コツを具体的な言葉にして知らせたりする。

・ 友達のできるようになったことや頑張っていることを見たり、頑張りを聞いたりする	る⑩ ○できなかったことや難しいと思っていたことができるようになった、上手になったなど前とは違う自分を感じて自信をもつ③ ○友達がしたいことに向けて挑戦している姿を見たり聞いたりして、友達の頑張りがよさを感じたり、今まで知らなかった個性を知ったりする⑤ ○困っている友達に気づき、友達のために声をかける、待つ、励ます、教えるなどしようとする⑦	◎前の自分と比べてできるようになっている、上手になっていると思えるように、それぞれがどこまでどんな風にできているのかを把握しておき、前よりどんなところができるようになったのか具体的に言葉にして褒める。 ◎できるようになった自分に自信をもてるように、できるようになった、上手になったことをみんなに紹介したり、披露する機会を設けたりする。 ◎友達の頑張りがよさ、今まで知らなかった個性を感じられるように、友達が挑戦している姿をみんなで見る機会を設けたり、これまでの頑張りを具体的に言葉にして知らせたりする。 ◎友達のためにできることを考えられるように、困っている友達がいることを知らせたり、どうしたらいいのか一緒に考える時機会を設けたり、待ってできそうな時は、待ってあげることを提案したりする。
--	--	--

D【発表会でお家の人に見てもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成 ◎教師の援助
・ 発表会の日やお家の人が見に来てくれること、お家の人が見る場所を聞く ・ 見てほしいところや頑張りたいことを言う ・ 発表会でお家の人に見てもらう	○発表会でお家の人に見てもらうことに期待をもつ① ○見ている人に分かってもらえるように大きな声で話したりそれが劇中では聞こえていないことにしたりする楽しさを感じる⑩ ○見ている人に見やすかったり見えなかったりするように、道具を置いたり隠したり立ったりする位置や向きを決めたり、必要な道具を考えて運んだり使わない時は収めたりしようとする⑩ ○楽しんでいたり頑張っていること、できるようになったことをお家の人に見てもらったり拍手をもらったり褒めてもらったりして嬉しいと思ったり、頑張った自分に満	◎発表会でおうちの人に見てもらうことを楽しみにできるように、参観等をきっかけに、お家の人にお話を見てもらいたいという思いを共有したり、お家の人について見てもらうかやどこで見てもらうかを知らせたりする。 ◎見ている人に分かってもらえるように表現することを意識して表現する楽しさを感じられるように、大きな声やはっきりとした表現を受けて表現したいことがよく伝わったことを知らせる。 ◎見やすさを意識して道具を置き方や立ち位置等を考えられるように、客席から見て感じたことを伝えたり、客席から見る機会を設けたり、見てどう思うか尋ねたり、撮影した動画や静止画を見せたりする。 ◎お家の人に見てほしいところや頑張っていることを意識できるように、見てほしいところや頑張りたいことを聞いたり、頑張っているところを褒めたりする。 ◎頑張った自分に満足できるように、これまでの頑張りと今日の頑張りを結び付けながら、頑張っていたこと、自信をもってや

	足したりする③	っていたことを褒める。 ◎お家の人に見てもらったり褒めてもらったりして嬉しいと思えるように、お家の人 が拍手してくれていたこと笑顔で見てく れていたことを伝えたり、お家の人に笑顔 や拍手で励ましたり、具体的に褒めたりし てもらえるよう伝えたりする。
--	---------	---